

9 健康教育・体育・芸術教育・デザインと技術(実技系科目)

①健康教育(Pendidikan Kesehatan)／体育教育(Pendidikan Jasmani)

*「健康教育」は、2000年代は、「保健体育(Pendidikan Jasmani dan Kesehatan)」、2013年から「体育・スポーツ・健康教育(Pendidikan Jasmani, Olahraga dan Kesehatan)」として学習されていましたが、2019年に「体育・スポーツ」分野と分割され、「保健」・「家庭科」等の分野の学習内容を含んだ科目として新たに開始されました。

*健康な生活公衆衛生や応急処置など「保健」にかかわる内容の他、食品の安全や栄養管理など、「家庭科」の食品関連の学習内容が含まれており、「食品の栄養と安全」や「救急箱の薬や道具の機能」といった単元が見られます。

*また、小学校低学年から、禁止薬物(dadah＝麻薬)の恐ろしさを啓発する単元もあります(※マレーシアでは、麻薬を所持していると「極刑」となります)。

*「体育」で取り上げられているスポーツには、サッカーやホッケー、バドミントンなど、マレーシアで人気が高いスポーツの他、バスケットボールやバレーボール、ソフトボール、創作ダンスなども扱われます。また、「セパタクロー(Sepak takraw)」などの伝統的な球技も授業で取り上げられています。

*セパタクローはマレーシアの国技といわれ、竹で編んだボールを足を使ってバレーボールのように相手のコートに打ち込んで得点を競う球技です(チーム戦やダブルス戦、また「蹴鞠」のような5人一組でのリフティング戦など5種目があります)。9世紀ごろから東南アジア各地で伝えられてきた伝統的なスポーツであり、日本でも1989年に日本セパタクロー協会が設立され、大学や社会人、地域クラブなどの各クラブ・サークルによる競技人口は徐々に増えてきている状況です。

② 芸術教育(Pendidikan Kesenian)

*2017年に、それまでの「音楽(Muzik)」と「美術(Seni)」を統合し、小学校1年次から導入・開始された科目です。音楽と美術の諸単元が含まれているため、音楽分野と美術分野の内容が交互に出てきますが、実際の小学校の時間割でも、音楽と美術は週に1度、30分×2コマしか割り当てられないため、隔週で交互に授業を行う場合が多かったことから、1科目に統合された経緯があります。

③デザインと技術(Reka bentuk dan Teknologi)

*2017年から小・中学校に導入された新科目です。前身は「Kemahiran Hidup」(生活技能／ライフスキル)という名称で、日本でいうところの「技術・家庭科」の技術分野にあたり、設計・デザイン・工作などのスキルを身につける科目です。安全管理の単元も含まれています。